

2021年3月23日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

2020年度版のサステナビリティレポートを発行

～ さまざまな社会課題に対して柔軟に行動できる組織を目指して ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、このたび、2020年度におけるサステナビリティの取り組みをまとめた報告書「[サステナビリティレポート2020](#)」を発行しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、人々の生活、経済、企業を取り巻く環境は劇的に変化しました。そのような状況において、資産運用会社として受託者責任を根幹に据え、持続可能な方法で社会に貢献しながら、お客様の利益を最優先に行動するために、運用手法および投資戦略を再考する機会となりました。

「サステナビリティレポート2020」では、コロナ禍におけるリスクや投資機会を的確に捉え、日興アセットの各資産クラスの運用チームによる、エンゲージメント(対話)を通じた投資先企業におけるESG評価などの取り組みについて紹介しています。また、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)を組み入れた従来からの投資プロセスに加え、ESGの課題解決に向けた最新の運用プロセスや投資戦略について取り上げています。

また、本レポートではサステナビリティの取り組みにおける新たな目標や活動について取り上げています。2030年までにグループ全体の女性管理職の割合を30%に引き上げる目標を新たに設定し、社内の女性社員の活躍推進をさらに加速させます。また、サステナビリティ目標を新たに人事評価として導入し、全社でサステナビリティの重要性に対する認識を一層高めるための取り組みを強化します。さらに、今年度は、平等な社会への貢献を目指して活動する人種平等化ワーキンググループを社内に新設しました。従来から国内外で多くのワーキンググループが活動する中で、コロナ禍においてもオンラインでセミナーを開催するなど、さまざまな方法で社会課題に対する理解を更に深め、社員が自発的に活動しています。

日興アセットのコーポレート・サステナビリティ部を統括する常務執行役員のステファニー・ドゥルーズは、「コロナ禍において、サステナビリティは日興アセットのさまざまな事業活動の中核を担う要素として不可欠です。サステナビリティの取り組みで特に注力している『ダイバーシティ&インクルージョン』、『不平等の是正』、『環境・気候』の3つの分野において更に高い目標を設定し、取り組みを加速させます。サステナビリティへの注力は長期的なものであり、企業市民および投資家としての責務を果たすべく、お客様やステークホルダーの皆様、ひいては社会全体の利益に資する取り組みを継続的に行なってまいります」と述べています。

日興アセットの「サステナビリティレポート2020」は下記のリンクからもご覧いただけます。

https://www.nikkoam.com/files/pages/about/pdf/esg/FINAL_NAM_sustainability_2020_digital_Jp_13.pdf

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約29.4兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2020年12月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会